

令和５年度 事業計画（案）

I 新しい但馬づくりを担う人材等の育成に関する事業

但馬の多彩な魅力を再認識、再発見することにより、新しい但馬づくりを担う人材を育成するため、次の事業を行う。

1 未来を担う人材育成事業 〔2,683 千円〕

住民が主体となった地域活性化を推進するため、幅広い年代を対象とした地域づくりの人材育成を展開する。

（１）たじま未来づくり講座の開催

但馬の自然・歴史・文化など多様な地域資源を活用した、但馬を知る学びの場を提供し、より多くの住民に地域づくりについて関心を抱かせ、但馬を担う人材の育成と裾野の拡大を図る。

- ① 期 間 令和５年４月～１２月
- ② 募集人員 ８０名
- ③ 講座内容 共通８講座（座学）、選択７講座（現地） 計１５講座
（上記の他、令和５年度からスポット受講者を延５０人程度募集し、多忙な若手・現役世代の参加の拡大を図る。）

（２）たじま未来探検隊の実施

但馬の将来を担う子どもたちに、但馬の産業、優れた技術を持つ企業、地域資源を利用した活動等について学ぶ機会を提供し、地元への愛着や誇りに思う心をはぐくみ、但馬に住み続けたい、将来但馬に戻りたいという気持ちを醸成する。

- ① 実施時期 夏休みを中心に２回程度開催
- ② 募集人員 各４０名（小学校４～６年生）
- ③ 内 容 産業・観光・地域づくりの現場を見学、仕事体験、活動体験等
（バスツアー形式を予定）

2 但馬検定事業 〔1,846 千円〕

但馬の自然・歴史・文化などを幅広く楽しく学ぶことで、地域の魅力を再発見し、但馬内外にその魅力を発信する機会として但馬検定を実施する。

（１）但馬検定の実施

第１８回但馬検定を次のとおり実施する。

- ① 試 験 日 令和５年１２月
- ② 検定種別 １級、２級、３級
- ③ 応募見込 １６０名
- ④ 実施場所 但馬長寿の郷、豊岡稽古堂

(2) ウェブサイト「ザ・たじま」の運営・活用

子どもを含めた幅広い世代が但馬の地域情報に楽しみながら触れる機会として、但馬検定公式サイト「ザ・たじま」を管理運営し、サイトを活用した学びの場を提供する。

- ① 但馬検定の関連情報やウェブ版但馬事典「ザ・たじま」、ミニクイズ等を掲載し、但馬を学ぶ意欲を高める。
- ② 検定の受検者を拡大するため、ウェブを活用した体験版の検定等により、但馬を学ぶきっかけづくりを推進。
- ③ 主に小学生を対象とした出前講座を実施し、サイト内のクイズコーナーを活用したふるさと教育を推進。

(3) 但馬検定テキストブック「ザ・たじま」の改訂

現行の「ザ・たじま」を発行してから5年を経過することから、掲載内容を更新し改訂版の冊子を発行する。(作成部数 1,000 部、令和 6 年 3 月発行予定)

Ⅱ 交流促進による新しい但馬づくりに関する事業

但馬地域内外との交流促進や地域情報の発信等を通じ、交流・移住人口の増加、地域活性化及び観光振興を図るため、次の事業を行う。

1 地域情報発信事業 [13,797 千円]

各種広報媒体を多角的に活用し、観光・自然・イベント・ニュースなど但馬に関するあらゆる情報をタイムリーかつわかりやすく提供する。

(1) ウェブサイト「但馬情報特急」の運営

ウェブサイト「但馬情報特急」を活用し、但馬のポータルサイトとして、但馬に関する最新の情報、魅力ある情報を多分野にわたり収集し、発信する。

(2) 但馬ふるさと特派員の養成

住民による但馬の魅力発信を推進するため、但馬ふるさと特派員を養成するとともに、情報発信の現地講座を開催し特派員のスキルアップを図る。

(3) 情報誌「T2」の発行

但馬の魅力あふれる地域資源や取組をクローズアップするとともに、観光・イベント等の旬な情報を掲載した、但馬の魅力を紹介する情報誌を発行する。

- ① 発行時期 年 3 回 [夏号(6月)、秋冬号(10月)、春号(2月)]
- ② 発行部数 各 7.4 万部
- ③ 仕 様 A 4 判カラー印刷(20 ページ)
- ④ 配 布 先 但馬全戸、但馬ファンクラブ会員、同協賛施設、旅行会社、報道機関など

(4) 但馬ツーリズムマップの制作

交流人口を拡大するため、但馬の周遊観光に便利な、但馬の魅力・見どころをまとめた観光マップを発行する。

① 部 数 20,000 部

② 配布先 観光協会、道の駅、観光施設、宿泊施設など

※ 掲載内容を更新し、R6.3月に改訂版（Vo1.16）を発行予定

2 但馬ファンクラブ事業 [2,272千円]

但馬の魅力をPRし、但馬ファン・リピーターを拡大する但馬ファンクラブ事業を展開し、地域内外の住民の交流促進、地域活性化及び観光振興を図る。

(1) 但馬ファンクラブの運営

但馬を楽しんでいただくための会員へのサービスを実施する。

① 施設利用の割引等が受けられる会員パスポートの発行

② 但馬の情報誌等（T2、パンフレット）の送付（年3回）

③ 但馬の特産品等のプレゼント（年3回、抽選で計150名に）

④ 但馬内のミュージアム無料招待券の配付

(2) 入会のPR活動

会員獲得のため、キャンペーンや各種事業とのコラボレーションを実施する。

① 新規会員獲得のための入会促進事業の実施

② 但馬外のリピーターが多いイベントとの連携企画の実施

3 たじま田舎暮らし推進事業 [9,111千円](全額但馬県民局からの委託・額未確定)

但馬地域への移住・定住を促進するため、「たじま田舎暮らし情報センター」を運営し、移住希望者への情報提供や支援事業を実施する。

(1) 移住相談員の配置

たじま田舎暮らし情報センターに移住相談員を配置し、U・Iターンを考えている方への移住相談や各市町、関係団体と連携した移住支援を行う。

(2) オーダーメイドツアーの実施

但馬地域への移住や2拠点居住を具体的に検討している方を対象に、住まい、生活、子育て環境等の個々のニーズに応じた現地案内を実施する。

(3) 田舎暮らし情報の発信

たじまU・Iターン情報サイト「ひょうご北部で暮らす」や、移住マッチングサイト「SMOUT」を活用して、但馬地域の田舎暮らしに関する情報を提供する。

(4) 移住相談会等の実施・出展

県民局、市町、関係団体等と連携した移住相談会を実施する。

また、各種団体が主催する移住・定住イベントに出展する。

（５）仕事探しのサポート強化

移住希望者の仕事探しの支援を強化するため、専属コーディネーターを配置し、企業見学やインターンシップ体験、先輩移住者へのヒアリング等、個々の希望に応じた体験ツアーを実施する。